

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 14 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：布田 健 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>当小委員会は、建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする。特に、近年の高齢化、情報化、グローバル化などの社会的動向を鑑みて、高齢者、障害者、子供などの多様なユーザーの生理・心理・行動特性をふまえた生活環境の質的向上について多面的に検討する。</p> <p>初年度： 1) 小委員会の開催 (5 回)。 2) 建築人間工学研究会の開催 (2 回)</p> <p>2 年度： 1) 小委員会の開催 (5 回予定) 2) 建築人間工学研究会の開催 (2 回予定) 3) 多様性設計事例集の収集</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：布田 健 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 住宅研究部) 幹事：畠山 雄豪 (東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科) 幹事：飯塚 裕介 (大東文化大学 環境創造学部) 委員：老田 智美 (大和大学 理工学部理工学科建築学専攻) 古賀 紀江 (関東学院大学 建築・環境学部建築・環境学科) 古瀬 敏 (静岡文化芸術大学 名誉教授) 佐野 友紀 (早稲田大学 人間科学学術院) 嶋田 拓 ((株) 明野設備研究所 防火設計) 白石 光昭 (千葉工業大学 工学部デザイン科) 高橋 未樹子 (コマニー (株) 製品開発部 研究開発課) 田中 眞二 (積水ハウス (株) 総合住宅研究所) 田中 直人 (島根大学 客員教授) 徳田 良英 (帝京平成大学 健康メディカル学部理学療法学科) 藤井 皓介 (総務省消防庁 消防研究センター) 吉岡 陽介 (千葉大学大学院 自然科学研究科)	
設置 WG (WG 名：目的)	1) 情報技術を利用した人間工学的建築評価手法WG (4 回開催) ・活動量を用いた生活環境の建築前の「評価手法」を検討する。 ・建築教育に利用できる没入型仮想空間の技術課題を抽出し、モデルプログラムを作成する。 ・議論の場としての研究会の開催を予定する。 2) 人間特性の多様性に着目した設計事例・基準検討WG (4 回開催) ・具体的な事例収集とその発表および規準に対する提案を行う。 ・議論の場としての研究会の開催を予定する。	
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	

<p style="text-align: center;">講習会</p>	
<p style="text-align: center;">催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>1. 第 66 回建築人間工学研究会「トイレの建築人間工学 ーオリ・パラは未来に何を残すのか?ー」 参加者数 61 名</p> <p>2. 第 67 回建築人間工学研究会「災害タイムラインと避難行動計画」. 参加者数 57 名</p>
<p style="text-align: center;">大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	
<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<p>1. 委員会活動、研究会実施共に、当初の目標を達成した。 2. 研究会の実施では、オンライン開催をしたことで、遠方からの参加者が増え、従前の研究会と比べても、多くの参加者を得た。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. コロナ禍により委員会はオンライン開催で行ったが、平時のような密なコミュニケーションがとりづらかった。 2. Zoom などのライセンスの都合で、希望した日程での委員会が開催できなかつた。</p>